

① 最初の場面をとらえましょう。

(18～19ページ)

① いつ?

月の

② どこ?

③ だれ?

④ 何してる?

⑤ どんな様子?

周也…

律…

② 律と周也はどんな関係ですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

(19ページ)

③ 律が引きずっているのはどんなことですか。「」にあてはまる言葉を書きなさい。

(19～20ページ)

今日の昼休み、友達と「

いう話になり、みんなの「

」についていけず、

「どっちもかな。」とか言っていたら、周也に「どっちも好きっ

てのは、どっちも「

」のといっしょ

じゃないの。」と言われたこと。

④ みぞおちの辺りが重い、ぼくの気持ちとしてあてはまるものに○をつけなさい。

(20～21ページ)

ア 周也はどんなこともテンポよくできてねたましい。

イ 周也とはテンポが合わないので仲良くしたくない。

ウ 周也のテンポについていけない自分がもどかしい。

⑤ 二人のどんよりした空気が一変したきっかけは、何でしたか。

(22ページ)

⑥ (1) 腹をかかえて笑った後、ぼくは勇気をふりしぼって何と言いましたか。

(24ページ)

(2) ぼくの言葉に、周也はどのように反応しましたか。

「まばたきを止めて、

と僕の顔を見つめ、

うなずいた。

(3) 「軽快な足音」(24ページ12行目)は、どんな気持ちの変化があらわれていますか。律の気持ちを考えて書きなさい。

① 後半の「2」は、だれの視点で書かれていますか。

② 周也が野球の練習を休んでまで律を待ちぶせしたのはなぜですか。

③ (1) 並んで歩きだした後、周也は、どんなつもりでどうしましたか。

(2) 一方、律はどんな様子でしたか。

④ 周也のおしゃべりについて、周也の母親はどのように非難していましたか。

・相手の「」を受け止めて、それをきちんと投げ

返す、会話の「」ができてない。

・一人で球を放っているだけの、「」の壁打ちと同じ。

⑤ (1) 周也がいつもぺらぺらよけいなことばかりしゃべるのは、なぜですか。

(2) 一方、律はどんな様子だと周也は思っていましたか。

⑥ (1) とつぜん、律の両目が大きく見開かれたのはなぜでしたか。

(2) 雨が通りすぎるとすぐ、周也はどんな気持ちでどうしましたか。

⑦ (1) 律の「ぼく、……ほんとに両方、好きなんだ」の言葉に、周也はどのようにこたえましたか。

(2) (1)の周也に対して、律はどうしましたか。

① 最初の場面をとらえましょう。

(18~19ページ)

① いつ?

五 月の 放課後

② どこ?

学校の玄関口

③ だれ?

律 と 周也

④ 何してる?

「学校から家にいっしょに帰ろうとしている。」

⑤ どんな様子?

周也… 「なんにもなかったみたいになんとも変わらない。」
律… 「昼休みのことを引きずっていて気まずい。」

② 律と周也はどんな関係ですか。文章中の言葉を使って書きなさい。
(19ページ)

小四から同じクラスで、家も近く、よくいっしょに登下校をしていた関係。

③ 律が引きずっているのはどんなことですか。「」にあてはまる言葉を書きなさい。
(19~20ページ)

今日の昼休み、友達と「どっちが好き?」と

いう話になり、みんなの「テンポ」についていけず、

「どっちもかな。」とか言っていたら、周也に「どっちも好きっ

てのは、どっちも好きじゃない」のといっしょ

じゃないの。」と言われたこと。

④ みぞおちの辺りが重い、ぼくの気持ちとしてあてはまるものに○をつけなさい。
(20~21ページ)

ア 周也はどんなこともテンポよくできてねたましい。

イ 周也とはテンポが合わないので仲良くしたくない。

ウ 周也のテンポについていけない自分がもどかしい。

⑤ 二人のどんよりした空気が一変したきっかけは、何でしたか。
(22ページ)

(例) 天気雨

⑥ (1) 腹をかかえて笑った後、ぼくは勇気をふりしぼって何と言いましたか。
(24ページ)

ぼく、晴れが好きだけど、たまには、雨も好きだ。

(2) ぼくの言葉に、周也はどのように反応しましたか。

「しばし」 まばたきを止めて、「まじまじ」

と僕の顔を見つめ、「こっくり」 うなずいた。

(3) 「軽快な足音」(24ページ12行目)は、どんな気持ちの変化があらわれていますか。律の気持ちを考えて書きなさい。

(例) うまく言葉にできなくても、勇気を出して思ったことを言葉にしたなら周也はわかってくれた。これからは友達でいられる。よかった。

① 後半の「2」は、だれの視点で書かれていますか。

〔周也〕

② 周也が野球の練習を休んでまで律を待ちぶせしたのはなぜですか。
(25ページ)

〔例〕昼休みに言わなくてもいいことを言ってしまったから、周也の顔を見ない律のことが気になってしかたがなかったから。

③ (1) 並んで歩きだした後、周也は、どんなつもりでどうしましたか。
(25ページ)

〔例〕何もなかったようにふるまえば、何もなかったことになると思って、ぺらぺらしゃべった。

(2) 一方、律はどんな様子でしたか。
(25ページ)

〔例〕返事もまったくしないでおこっているようだった。

④ 周也のおしゃべりについて、周也の母親はどのように非難していましたか。
(26ページ)

・相手の「言葉」を受け止めて、それをきちんと投げ返す、会話の「キャッチボール」ができてない。

・一人で球を放っているだけの、「ピンポン」の壁打ちと同じ。

⑤ (1) 周也がいつもぺらぺらよけいなことばかりしゃべるのは、なぜですか。
(27ページ)

〔例〕だれかといるときにちんもくが苦手であれなから。

(2) 一方、律はどんな様子だと周也は思っていましたか。
(28ページ)

〔例〕ちんもくなんて気にせず、マイペース。

⑥ (1) とつぜん、律の両目が大きく見開かれたのはなぜでしたか。
(28ページ)

〔例〕晴れているのに、雨がじゃんじゃん降ってきたから。

(2) 雨が通りすぎるとすぐ、周也はどんな気持ちでどうしましたか。
(28～29ページ)

〔例〕ただただおかしくて、笑いがあふれだし、律もいっしょに笑ってくれたのがうれしくて、わざと大声を上げました。

⑦ (1) 律の「ぼく、……ほんとに両方、好きなんだ」の言葉に、周也はどのようにこたえましたか。
(29ページ)

〔例〕心で賛成しながらも言葉にできず、だまってうなずいた。

(2) (1)の周也に対して、律はどうしましたか。
(29ページ)

〔例〕雨上がりみたいなえがおにもどって、ぼくにうなずき返した。